

女性パトロール報告書

現場名：H30西浦和管内右岸維持管理工事
対応：野澤 良太・黒澤 俊・外山 高久

実施日：平成30年9月11日
実施者：笠原 美寿々・斉藤 夏海・小柴 亜柚美

【下流班 パトロール状況】

作業内容：除草工（ハンドガイド）

●安全管理について●

前日に雨が降っていた為、今日の作業は滑らないよう注意して進めていました。（雨の日の後の方が、刈った草が舞うこともなく、作業はしやすいとのことでした。）

チェーンの前にシートを取付け飛石対策を強化していました。シートについては5mmのゴム製のものを使用してみたりと試行錯誤した結果、現在使用しているのはサニーホースを切ったものが一番良いとなったそうです。

●作業について●

実際に操縦もさせてもらいました。刈る草の背丈が高く、中に大きなゴミがあっても見えないと思いました。無線機を使っての指示が重要になると感じました。

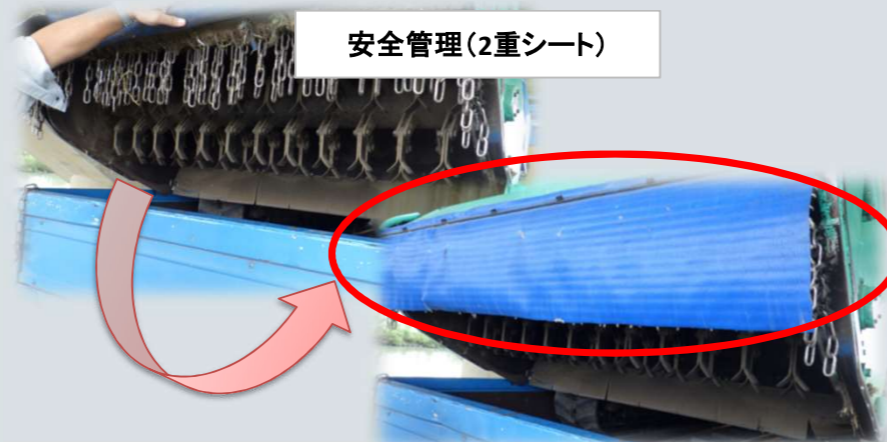
●最後に●

パトロール用に資料を用意してくださったり、現場内のゴミ拾いも行っていたりと、作業に細かい気遣いを感じられました。普段から快適な作業空間が作れているのではないかと思います。

作業状況(ハンドガイド)



安全管理(2重シート)



実際に操縦



【上流班 パトロール状況】

作業内容：除草工（遠隔操縦式）

●作業について●

上流班ではラジコン式の草刈機で試験施工を行っていました。

延長60m×法長40mの範囲を①ハンマーナイフで1往復、②ラジコン式で前進、③ラジコン式で後進、④ラジコン式で往復の4パターンで刈り、それぞれ9測点の計36箇所、刈った日→3日後→1週間後→2週間後に刈高を測り、どう変化があるか調べるようです。

今回は④パターン目の施工方法で作業中でした。前進後、キャタピラが通った位置も刈れるよう少し位置をずらして後進をしていました。

作業状況(遠隔操縦式)



安全管理



●安全管理について●

ラジコン式の草刈機も飛石対策としてチェーンとカバーが付いていました。

機械に乗りながらの作業とは違い、機械から離れて作業ができるため、機械が滑り作業員さんが転落するといった危険がなくなり、作業の安全性が高まると思いました。また、刈り取られて舞う草や機械音からも離れられるため、作業ストレスが少なくなるのでは、と感じました。

●最後に●

パトロール当日は涼しい日だったので作業をしやすそうでしたが、真夏の暑さやこれからの厳しい寒さの中では休憩所が近くにない中で長時間の作業は大変だと思うので、休憩スペースをしっかりと確保し、無理せず作業を進めてほしいです。



作業状況

下流班の現場では、幸魂大橋から笹目橋の区間を除草していました。法面が広いので傾斜が緩やかに見えますが、実際に歩いてみると傾斜がきつく感じました。また前日に雨が降ったことにより草が水を含み、足元が滑りやすくなっていました。現場ではハンドガイド式刈草機を使用しており、足元が滑りやすくなっているため転落・滑落に注意しながら作業を進めていました。天端に散った草はブローアを法面に向けてかけ、通行人が通る時には作業を必ず止めて作業をしていました。堤防の利用者が少ないので作業を止めながらの作業でも順調に作業を進められている様子でした。

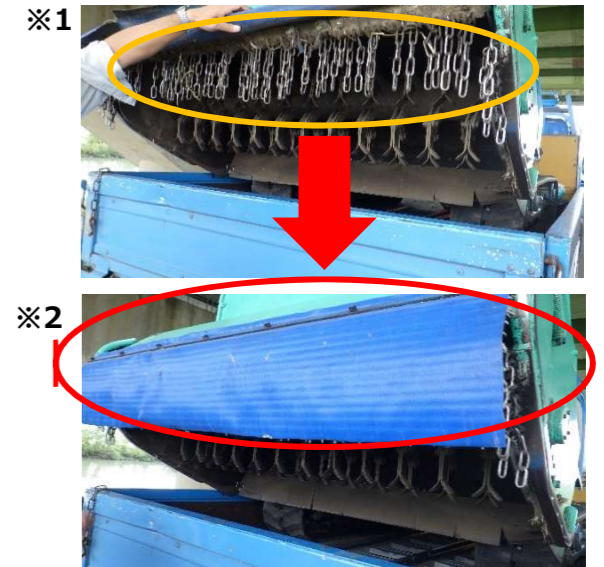


上流班の現場では、治水橋付近で遠隔操縦式草刈機の作業を行っていました。現在、試験的に除草作業を行っており、刈り方の方法を4つに分け、決められた日数毎に刈高の計測を行うようです。ハンドガイド式刈草と比較すると機械の大きさは小さく、前進するスピードは速く感じました。操縦者は刈る範囲から少し離れて操作し、見えにくい場所には誘導員を配置されていました。操縦者は刈っている様子を横からでも見れるので法面に段差がないか等確認しやすいと感じました。

ハンドガイド式草刈機

草刈機による事故は、飛び石による第三者の事故、建設機械の転倒等が予測されます。現場に適した作業内容に対して安全性や効率性を考慮しながら作業を進めていく難しさを感じることができました。

ハンドガイド式草刈機には、(※1)の写真のように飛び石防止のチェーンが元々ついておりますが、更に安全性を考え(※2)のように2重カバーをしていました。



特別にハンドガイド式草刈機を操作させていただきました。実際に乗ってみて、草を刈っている時の機械の揺れが激しいので、手元が動いてしまい操縦が難しいです。操作するレバーがとても軽いので後進時に後ろを振り向いた反動で手元が動いてしまい、思ったように操縦できませんでした。また、後進時の視線が地面に集中してしまうので周りの方が機械の周辺に注意して見守ることが必要だと感じました。

機械を操縦するには資格がなくても乗ることができます。操縦に慣れていない人が乗る場合には、こういった場所が危険かなど、事前に打ち合わせを行い十分に注意して作業をしなくてはいけないことが分かりました。

さいごに



除草作業は、法面の段差、落下物の確認、作業範囲や機械の近くに人はいないかなど、目配り・気配りが忙しい作業だと感じました。

第2回目の除草作業が終わりに近づいていますが、引き続き事故のないように作業を進めてまいります。

女性パトロール実施報告書

実施日 : 平成30年9月11日(火)
対象現場: H30西浦和管内右岸維持管理工事
報告者 : 経理 齋藤夏海

～下流班パトロール～

◎ハンドガイドを4台使用し、除草を行っていました。

○休憩場所は橋の下にしているようでした。近くに遮蔽物が橋くらいしか無く、作業地点が進むにつれなおさら日陰も無くなるようでしたので、こまめに水分補給・休憩をとって、熱中症等に気を付けながら作業してほしいです。

～安全管理について

○パトロール前日に雨が降っていたため、ハンドガイドでの作業は特に法面で滑落することがないように、細心の注意をはらって行っていました。ハンドガイド自体は法面に沿って斜めになりますが、作業者自身の体が斜めにはならないような足場がハンドガイドについており、無理な体勢で作業を行わずに済むので、機械から作業者が落ちてしまうという可能性が減る、と感じました。



○ハンドガイドの飛び石対策としてもともと付いている鎖だけでなく、その上からサニーホースの切ったものをカバーとしてかぶせていました。



☆ハンドガイド操縦☆

○実際にハンドガイドで平面を操縦させていただきました。操作が思っていた以上に簡単でしたが、その分スピードも簡単に上げてしまいました。そのため、初めて作業する場合にはなおさらスピードの出しすぎに注意しなければいけないと感じました。

また、草の背が高く前方が見えにくかったので、障害物等が無いことを事前に確認することも大切かと感じました。



☆最後に☆

○事前にパトロール用資料を作成してくださっていました。また、こまめにゴミ拾いをしているとのことでしたので、常に現場内がきれいに保たれて作業しやすい環境になっているのではないかと感じました。